

大学等名：横浜国立大学
テーマ：テーマII（学修成果の可視化）

本プログラムは、我が国が目指す大学教育改革の方向性を参照しつつ、本学の大学憲章(実践性、先進性、開放性、国際性)と教育目標(人材養成像)を踏まえ、「授業設計方法と成績評価の改善」を大学教育改革の基盤(ベース)と位置付け、その教育改革の両輪として学部教育の内部質保証システムを牽引していく「YNU学士力と就業力」の可視化、その原動力となる全学的な「YNU教学マネジメントチーム」の組織化にある。これら可視化された教育成果を学生ポートフォリオに組み入れ、「学生自らが学修成果を把握し、次の学びを主体的にデザイン」できる行動様式に変容させ、「日本社会が直面する諸課題の解決に国際的視点から貢献するイノベティブな人材(平成29年3月制定)」の養成機能が抜本的に強化される。さらに「YNU学士力と就業力」の可視化により、入口(入学)から出口(卒業)まで質保証の伴った総合的な大学教育改革が加速される。

学生の主体的な学びのデザイン

【YNU学生ポートフォリオ構築】

- 成績評価分析表示システム
- 学生プロフィールシステム
- キャリアデザインファイルの統合

YNU学士力の可視化

【教学・学生IRシステム拡充】

- 学務情報システムデータを活用した学修成果の分析
- 成績分布表示システム
- 学生学修行動調査の分析
- 成績不良学生の早期抽出
- 留学生の在留管理
- 大学ポートレートデータを活用した他大学比較分析

YNU就業力の可視化

【キャリア教育の再体系化】

- キャリア科目の再体系化
- キャリア科目のビデオ教材化
- グローバルキャリアプログラム
- 産学連携型講座
- 就業力アセスメント(就業力自己チェックシートの開発)
- 検定外国語試験(英語・初修外国語)の単位化と複数回実施

- ・在学生・卒業生アンケート
- ・学生の授業アンケート
- ・大学ポートレート/大学改革支援・学位授与機構Web

授業設計方法と成績評価の改善

【厳格な成績評価と卒業認定システム】

- YNUイニシアティブ(3ポリシー)策定
- 授業設計と成績評価ガイドライン策定
- 授業別ルーブリック導入とシラバス改善
- 学部・大学院一体型の科目ナンバリング導入
- FD/SD活動の推進

- ・外部評価委員会の意見
- ・グローバル企業の人材ニーズの把握
- ・卒業生/企業人事担当者フォーカスインタビュー

「YNU教学マネジメントチーム」により大学教育改革を加速

副学長、5学部教務委員長、高大接続・全学教育推進センター長(兼基盤教育部門長)、学務部長

【事業の成果】

	26年度 (実績値)	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間(1週間平均)	週5.4時間	週5.8時間	週8.5時間
授業満足度アンケート実施率	65.8%(秋)	78.8%(秋)	100.0%
学生ポートフォリオ利用率	4.4%	65.8%	90.0%

本事業の実施により、

- ・全学的教学ガバナンス機能が強化され、厳格な成績評価と卒業認定システムへの移行を実現させ、大学教育改革が加速される。
- ・大学全体として、教学・学生IRシステムの拡充強化、キャリア教育の再体系化が推進され、学生の主体的学びによる人材養成機能が強化される。